

# みらい科 校内研究学習指導案

4年

単元名  
「染めを未来へ伝えよう」

日時 令和5年10月27日(金)5校時  
場所 4年1組・2組 教室  
授業者 4年1組  
4年2組

## 1 単元の目標

全国各地の伝統工芸について学ぶ中で、地域の伝統工芸である「染め物」を守り伝えるための活動を自ら考え、実践する。グループごとに染めのよさを知ってもらうための活動を考え、これまで培った基礎力・思考力を活かして計画・調査・実行し、課題解決・探究に向け、新たな価値を創造しようとする力を伸ばす。また、周りの人との相互理解を深め、協働して課題解決・探究活動を行う。

## 2 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①「染めのまち落合」の特徴、よさ、課題及びそこに携わる人々の思いについて考えを伝え合ったり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解し、協力して学びを進めている。	①染め物産業の背景や携わる人々の思いをふまえて課題を設定し、見通しをもって探究しようとしている。 ②収集した情報をもとに、必要な手段や表現方法を選んだり活動を修正したりしながら実行し、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして表現方法を工夫しようとしている。	①進んで伝統工芸のよさを見付け、染め物を通して地域の地場産業について考え、関わろうとしている。

## 3 単元について

### 【教材について】

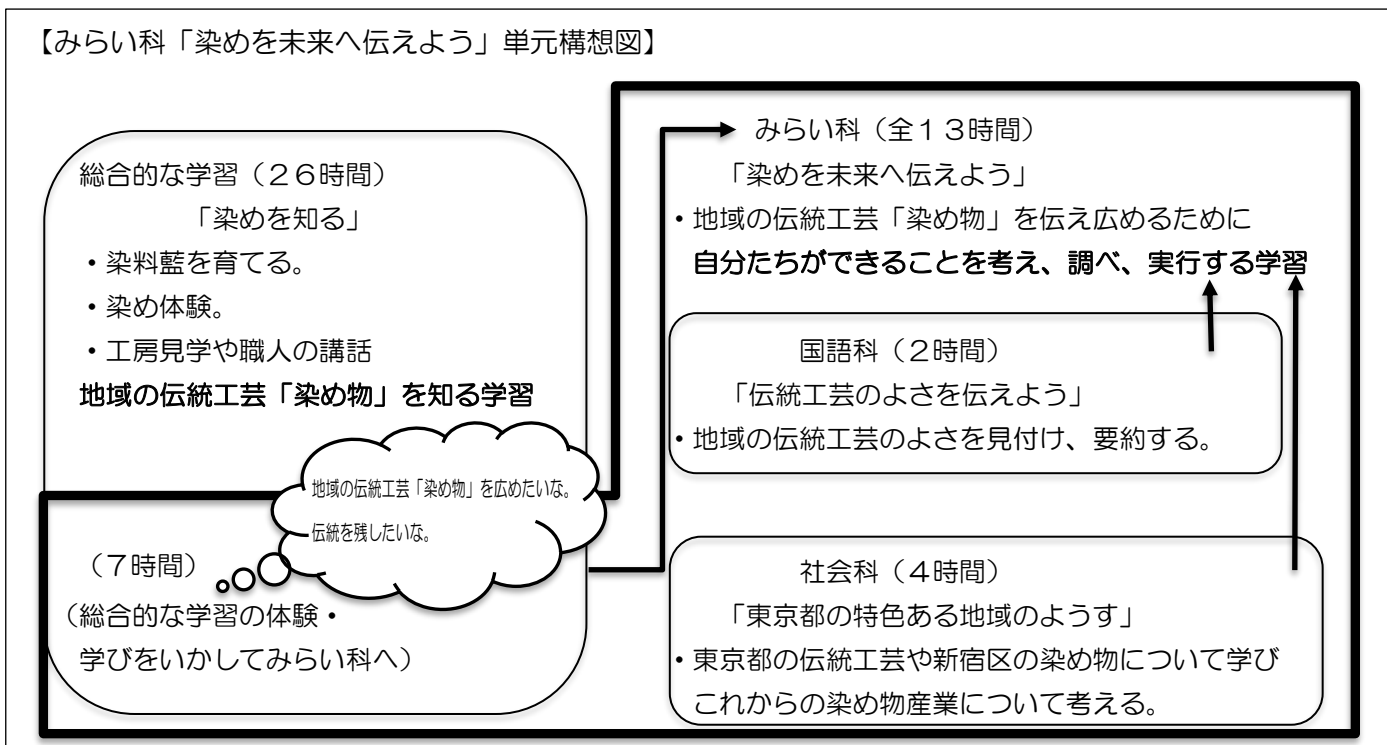
本単元は、総合的な学習の時間「染めを知る」での染料藍の栽培や染め体験、職人とのふれあいの中で学んだことを基に、地域の伝統工芸である染め物について伝えたり、広く知ってもらったりするための表現方法を考え、行動し、地域に深く関わっていく学習である。その際、社会科「東京都の特色ある地域のように」や国語科「世界にほこる和紙（伝統工芸のよさを伝えよう）」で、伝統工芸について学んだことを発展させ、児童自らが自分たちの地域の伝統工芸について見出した思いをふくらませ、自分たちにできることを実現していくことを目的としている。

総合的な学習の時間「染めを知る」では、藍を種から育て染料として使ったり、染め職人の方から染めの歴史や現状を聞いたり、染めの指導を受けて染め体験をしたりする中で、例年、児童から「落合の染め物をこれからも残していきたい」「多くの人に落合の染め物を知ってもらいたい」という声があがっている。この思いを実現するために、社会科と国語科の伝統工芸に関する学習をコンバインし、児童自らが「地域のために自分達にできることを探究していく学習」としてみらい科に設定した。

社会科「東京都の特色ある地域のように」では、新宿区で染物がさかんになった理由や染め物の工程

から、後継者不足など現在おかれている状況などについても学習する。国語科「世界にほこる和紙（伝統工芸のよさを伝えよう）」では、日本各地の伝統工芸のよさについて調べ、集めた情報を要約し、分かりやすく表現すること、伝え合うことを目標にリーフレットに表す。社会科、国語科、総合的な学習の時間にとどまらず、多くの学びから社会的事象を自分事として捉え、他者と協働しながら自分達の思いを形にする実行力と、積極的に地域のために貢献していこうという意識の高まりを期待したい。

【みらい科「染めを未来へ伝えよう」単元構想図】



【児童について】

本学年は好奇心が強く、前向きに考えて取り組める児童が多い。体育学習発表会では、中学年を引っ張る存在としてリーダー性を発揮し、一人ひとりが役割を意識して活動に取り組む姿も見られた。

一方で、ゴールを意識した学習計画の作成や、複数人で話し合っって課題解決をすることに苦手意識がある児童も多くいる。自分がやりたいことだけをやりたい、意見をまとめることができない、自分が何をしたらよいか分からないなど、見通しを立てた計画の実行や、話し合いのスキルの未熟さ、分担した役割を完遂することの難しさなど、グループ学習に対する不安や課題が多い。そこで、本教材では、少人数グループでの話し合い活動から始め、同じ目的をもった6人程度の探究グループで協働学習できるようにする。また、話し合いや活動が児童にとって視覚的に分かりやすく整理されるように、様々な「考えるための技法」を取り入れる。「正解」を求めるのではなく「できることを見付ける」ために、より自由に考えを広げたり、全体を俯瞰してアイデア同士の繋がりを見付け、新たな思考に繋げたりできるように、ウェビングマップを取り入れた。併せて、情報をさらに整理するための技法として、エリアチャートも用いる。見通しを立てて自分たちで学習を進めるために、学習計画表を探究グループごとに作成し、毎回、やるべきことと次時の活動を意識して取り組ませる。そうすることで、「自分のすべきことは何か」「まとめるのにあと1時間必要だ」「決められた時間内に終わらせるために、終わった人が別のところを手伝おう」など積極的に活動に向かえるようにするねらいがある。これらの技法を活用しながら、児童自らが見出した課題の解決や探究にむかう楽しさ、知識の深まりとともに思考が広がることのおもしろさなどを実感し、協働学習のよさに気付いて充実した学びとなるようにする。このように、資料や学習用具の充実、学習計画の柔軟さなどを工夫し、できる限り児童の思いを形にできるように支援・指導する。

## 【指導について】

本学習は、「染めを知る」での体験やそこで得た知識をもとに、児童自らが「染め物の未来」について考え、できることを見付け、児童たち自身の力で実現・解決・探究していく学習である。様々な考えを引き出し、関連付けさせるためのウェビングマップや、考えを比較・分類するためのエリアチャートを活用して思考を整理したり、グループごとに学習計画表を作成し見通しをもって学習に取り組んだりして、協働する楽しさを味わいながら、できる限り児童自らの力で学習を進められるようにする。また、多くの情報の中から必要なものを選んだり、内容を要約したりして収集した情報を再構築し、自分たちの願いを実現するために自分が得た知識を活用する能力と、それを発信していく能力を育てるねらいがある。

他教科の学習との「つながり」は常に意識して指導・支援を行っているが、本学習では、その「つながり」を「深まり」に発展させるため、教科コンバイン型プログラムを行い、柔軟な学習計画を作成して関連がある教科の単元を入れ替えたり、同時期に染め体験を取り入れたりして、児童が知識と経験を結び付けて思考を深められるようにした。他教科で得た知識と経験とが結び付いて児童自身が染め物を身近に感じ、染めに関わる事象や課題を「自分事」として捉えられるような指導の工夫をする。

※ウェビングマップ：考えを「広げてみる」ときに使う。中心にトピックやテーマをおいて、それに関連するものを連想して広げていく。

※エリアチャート：3つのエリアを円で作し、各エリアにテーマを決めて、複数ある考えや意見などの情報がどのエリアに入るのか話し合いで決めていく。小学生でも情報の比較・分類がしやすく、視覚的に情報整理をすることができる。

## 4 研究主題との関連

### 目指す児童像 「自ら考え、判断し、行動できる児童」

#### ① 自ら活動に取り組むことができる児童にするために

染め工房見学を行ったり、職人からの話を聞いたりすることで自ら活動に取り組むきっかけとする。

職人や伝統工芸を身近に感じ、意欲的に活動に取り組もうとする気持ちが自然にわいてくるように、職人による染め体験や染め工房見学を設定した。職人から直接話を聞くことで、地域の身近なこととして染め物産業の現状をとらえ、自ら進んで活動に取り組むことができるように学習計画を立てた。

#### ② 自分で考え、判断することができる児童にするために

児童の考えを広げるツールとして、ウェビングマップを取り入れる。






経験や知識をもとに、自分たちの力で何ができるか考えを広げていくために、グループでウェビングマップを用いて話し合いをする。

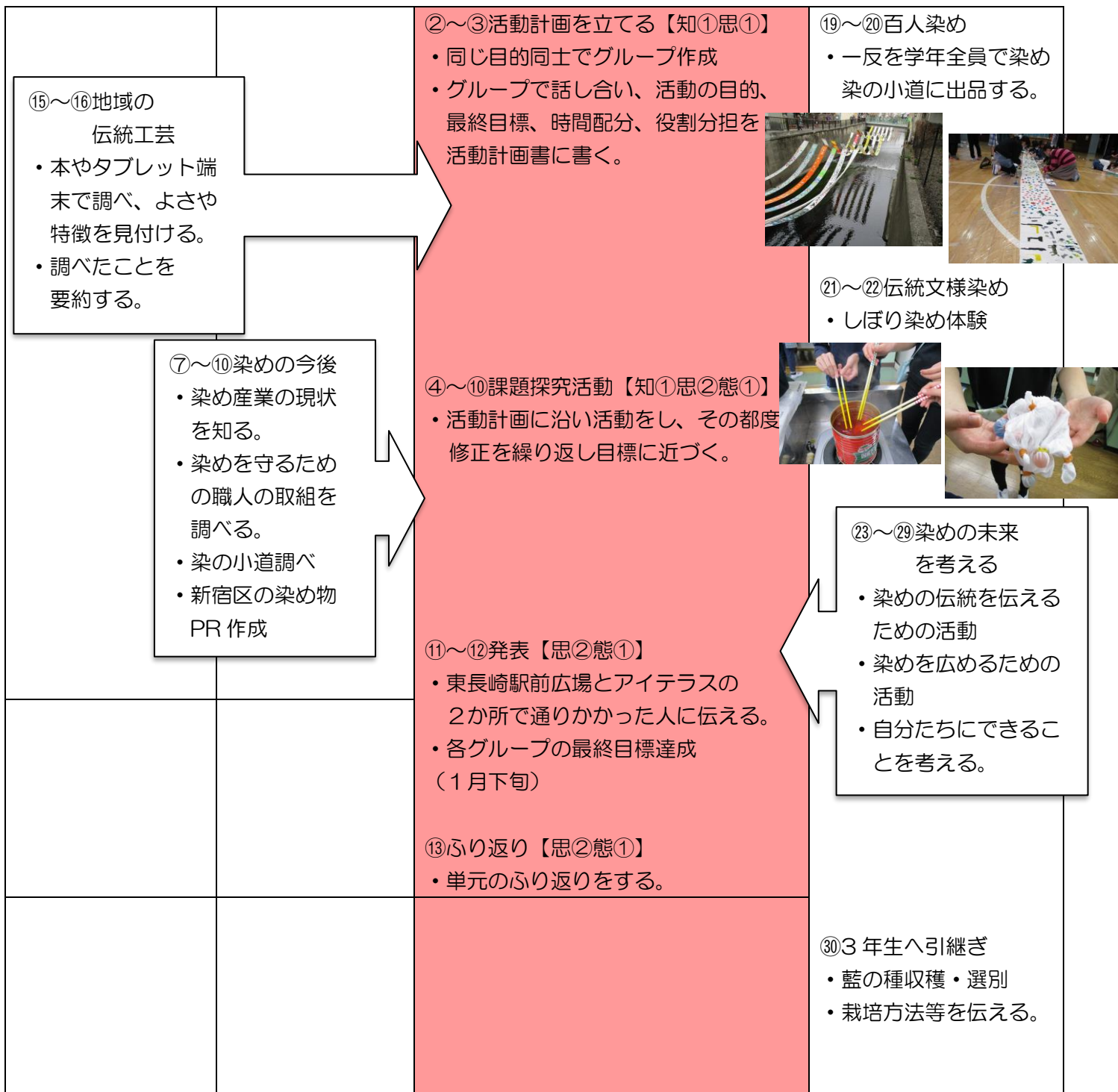
#### ③ 協働的に行動（表現）することができる児童にするために

自分らしい表現で意見を伝えるために、少人数での話し合いの場を設ける。

話し合いを少人数で行うことで、意見をまとめやすく、話し合いが苦手な児童も参加しやすい環境にする。

## 5 学習指導計画（全13時間：本時1/13）

<p>国語 世界にほこる和紙 （百科事典での調べ方・伝統工芸のよさを伝えよう） （2/16）</p>	<p>社会 東京都の特色ある地域のようす（染め物のさかんな新宿区） （4/10）</p>	<p>みらい 染めを未来へ伝えよう （全13時間）</p>	<p>総合的な学習の時間 染めを知る （7/30）</p>
			<p>①～⑪ ・藍を育てる。 ・引き染め体験</p>
<p>①伝統工芸を知る ・伝統工芸の本を読み関心をもつ</p> <p>②～⑤「世界にほこる和紙」の読解 ・文章構成を考える ・要約の仕方を理解する。</p> <p>⑥百科事典 ・使用方法の理解</p> <p>⑦～⑭全国各地の伝統工芸 ・本やタブレット端末で調べ、よさや特徴などを調べる。 ・調べたことを要約し、リーフレットを作成する。 ・読み合い、感想を交換する。</p>	<p>①～③東京都の伝統工芸 ・資料を活用し都内にどのような伝統工芸があるのか調べる。 ・伝統工芸の特徴や地域を調べる ・職人について調べる。</p> <p>④～⑥新宿区の伝統工芸 ・染小紋の実物に触れる。 ・作業工程調べ ・盛んになった理由調べ</p>		<p>⑫～⑬ ・身近なものを染める。 （Tシャツ染め）</p>  <p>⑭～⑮ ・身近なもので染める。 （植物・廃材染め）</p>  <p>⑯～⑰染め工房見学 ・染色工程を見学 ・職人の話を聞き、思いにふれる。</p>
		<p>①染め物を未来へ伝える方法を考える 【態①】本時 ・地域の伝統工芸を多くの人に知ってもらう方法について、イメージマップを使い、考えを広げていく。</p>	<p>体験活動をいかして みらい科へ</p> 



(写真は一部、昨年度のものも含む)

## 6 本時の指導計画（1 / 13時間）

### （1）本時の目標

地域の伝統工芸である染め物をこの先も存続させ、多くの人に新宿区の染めを知ってもらうために、自分たちが体験してきた染め物の知識を使ってどのような活動ができるか考えを広げていく。

### （2）評価規準

【主①】進んで伝統工芸のよさを見付け、染め物を通して地域の地場産業について考え、関わろうとしている。

(3) 展開

	<p>○主な学習活動 C 予想される児童の反応</p>	<p>・指導、支援      ◇評価（観点・方法）</p>
<p>導入</p>	<p>○これまでの学習を振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>・これまでに学習した、国語（伝統工芸職人の思いを知り、リーフレットで紹介する）や社会（東京都や新宿区の伝統工芸を調べる）、総合的な学習の時間（藍の育成、染め体験、染め工房見学）を振り返ることで、地域の伝統工芸への関心を高める。</p>
<p>【めあて】多くの人に染めを知ってもらうために、どんなことができるか考えよう。</p>		
<p>展開</p>	<p>○グループごとに思考ツール用紙に書き入れ、考えを広げていく。（ウェビングマップ）</p> <p><b>【伝える日時・場所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月下旬</li> <li>・落合南長崎駅アイテラス2階</li> <li>・東長崎駅南口 駅前広場</li> </ul> <p>C：外国の人にも伝えたいなあ。</p> <p>C：小さい子にも伝えたいなあ。</p> <p>C：小さな染め物をプレゼントするのはどうかな？</p> <p>C：染め物のやり方の動画を作りたいな。</p> <p>C：作った作品を見てもらいたいな。</p> <p>○グループで広げた考えの中で、できそうな活動を短冊に書いてホワイトボードにはり、共有する。</p>	<p>・各グループの話し合い状況を確認しながら、適切な指導・支援を行う。</p> <p>・誰に、どのように伝えるのか考えを広げられるように新宿区の染めからイメージを広げていく。</p> <div data-bbox="746 869 1422 1137" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> </div> <p>・思考の広がりが見られない場合、昨年度の活動例を示し、参考にするよう伝える。</p> <p><b>【昨年度のグループ別活動例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染め新聞を渡す</li> <li>・各グループのプレゼン広告作成</li> <li>・染め物紹介動画を作って見せる</li> <li>・藍の種プレゼント</li> <li>・染め物ファッションショーを見せる</li> </ul> <p>◇地域の伝統工芸である「染め」のよさを見付け、どのように伝えていくと染め物の未来につながるのか進んで考え、ウェビングマップ作製に取り組んでいる。</p> <p><b>【態①】</b>（観察、ウェビングマップ、ワークシート）</p> <p>・ホワイトボード上で、児童が貼った短冊を仲間分けすることで、どのような案があるのか児童に示しやすくする。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○本時の振り返り</p> <p>○次回の進め方について伝える。</p>	<p>・ワークシートを配布し、イメージマップの感想と、紹介した短冊の中で気になるものを記入する。</p> <p>・意見として出た活動案を実現できるかできないかで考え、実現できる活動の中でやりたいものを選んで活動していくことを伝える。</p>

補助資料

教科の観点別評価規準

知識・技能

国語 世界にほこる和紙	社会 東京都の特色ある地域のようす	総合的な学習の時間 染めを知る	みらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことを図や文章などにまとめ、染め物産業に携わる人々が協力し、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「染めのまち落合」の特徴、よさ、課題及びそこに携わる人々の思いや願いが分かる。</li> <li>目的に応じた情報収集の方法を考え、収集した情報を活用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを伝え合ったり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解し、協力して学びを進めている。</li> </ul>

思考・判断・表現

国語 世界にほこる和紙	社会 東京都の特色ある地域のようす	総合的な学習の時間 染めを知る	みらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。目的を意識して中心となる語や文を見付け、要約することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目しながら、地域の特色について考え、適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>染め物のよさや携わる人々の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって探究している。</li> <li>収集した情報をもとに、自分達の願いの実現のため、必要な手段を選び実行できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な他者と関わりながら、目的意識をもって調べたり、根拠をもって表現したりしている。また、様々な表現方法の中から、調べた内容に合わせて、適切な表現方法を選んでいる。</li> </ul>

主体的に学習に取り組む態度

<p>国語 世界にほこる和紙</p>	<p>社会 東京都の特色ある地域のようす</p>	<p>総合的な学習の時間 染めを知る</p>	<p>みらい</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 進んで伝統工芸のよさを見付け、自分の思いや考えを言葉や写真を使って分かりやすく伝え合おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝統的な技術を生かしたこれからの地場産業について、どのように関わっていくべきか考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「落合の染め」に関心をもち、自分たちができるPRの方法を、進んで考え提案しようとしている。</li> <li>• PRの仕方について、他者の考えを受け入れ尊重しながら、協働して考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分と地域のつながりに気づき、地域の活動に進んで関わろうとしている。</li> </ul>